



春日クリニック

25周年企画

リレーエッセイ④ 読者投稿 亀丸篤さん



## 「春日クリニックの思い出」

25周年おめでとうございます。もう24年位前と思いますが、背中が重たく、鈍痛があり、春日クリニックで診察を受け、当時の真由美先生から急性膵炎と診断され、それから2週間の点滴を受け、通院したことが思い出されます。

当時24時間営業のコンビニを開店して間もない時期で、お酒は毎日、365日飲んでいました。



真由美先生から、このままお酒を飲んでいたら、身体がだめになると、1週間に1日はお酒をやめる休肝日を作るよう言われました。その後は先生に言われた様に20数年間休肝日を守って現在に至っています。

私の子ども2人も小さいときから春日クリニックにはお世話になり、2人とも社会人として県外で頑張っております。

私も今年で満65歳となり、先日7月中旬に市役所から、高齢介護福祉課より介護保険者証が送付されてきました。いよいよ高齢者の仲間入りを実感しております。

これからは病気になる年齢に差し掛かるとは思いますが、これまで同様に定期的な検査などを行い、健康管理につとめてまいりたいと考えております。

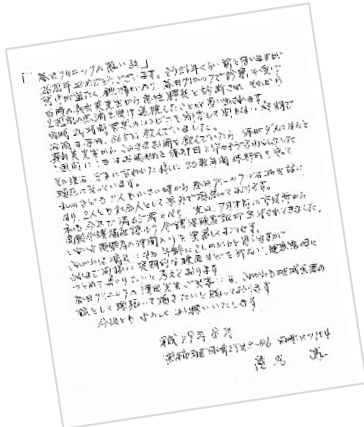
春日クリニックの清田先生ご夫妻には、これからも地域医療の核として頑張っていたいただきたいと願っております。

今後ともよろしくお願い致します。

⇒ 次回 読者寄稿その2

亀丸さん

手書きの温かいお手紙と  
当時の写真をありが  
うございました。



25周年に寄せ、はるかぜネットワーク読者の皆さまからも「春日クリニックの思い出」についてエッセイを募集します。400～500字程度、できれば何か思い出の写真を添えて スタッフまでお渡しください。寄稿してくださった方には「ものすご〜い」豪華賞品が？たくさんのご応募お待ちしております。

## 頑張り男組！ ～杏心の丘草刈り編～

今年も杏心の丘の草刈りシーズン到来。夏になると、草は次から次に生えてくるので困ったもの。

今年は杏心の丘の男子で力を合わせて、職員駐車場の草刈りを行いました。サ高住の宮崎さんは、今年は本格的な格好で草刈り機を扱い、ものすごいスピードで作業が進みました。しかし、機械が使えない場所は、コツコツと手作業。これからも女性職員に負けられないよう、男組で団結してキレイな職場環境維持に努めていきます。

(看護小規模はるかぜ 吉田)

